

平成 25 年度(2013 年)事業報告

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

「事業の概要」

平成 25 年度は、協会の主要事業である『生活・コミュニケーション支援事業』をはじめ『国際交流事業』、『国際理解事業』、『広報事業』の 4 つの分野を柱とし、新規に受託した『外国人市民の地域への防災訓練参加事業』、『国際理解教育プログラム開発および講演会等』、『コミュニケーション支援事業』について、会員の方々の協力のもと、各種の事業活動を展開しました。さらに、設立 5 年目の節目としての活動記録を「5 年の歩み」としてまとめ発刊しました。また、協会のあり方プロジェクト委員会の成果として法人化に向けた提案をまとめ、理事会承認後、委員長会議、団体ネットワーク会議、個人会員懇談会において説明しました。また、平成 26 年 2 月末発行の会報で法人化の趣旨説明を記事掲載し、より多くの会員に理解を求めました。

新しい飛躍の年に向け、過去の活動を整理・評価し、未来への礎と枠組みをつくるべく準備を始めました。

I. 『生活・コミュニケーション支援事業』

1. 「語学ボランティア」

語学ボランティアは、「サポートデスク」、「行政書士による外国人個別相談」をはじめ各種の事業や八王子市等からの委託を受け通訳・翻訳を行っていますが、昨年度に続き、市の海外友好交流都市の交流事業の通訳の他、国際チェロコンクールの通訳など国際交流に寄与しました。また、各種団体や個人からの依頼による通訳・翻訳を行いました。さらに、「語学ボランティアの集い」を年 2 回開催し、専門家による講演会、防災訓練・医療通訳のロールプレイングを行い、語学ボランティア同士の情報交換やスキルアップ、連帯感の高揚を図りました。

2. 「医療ボランティア」

本年度も一般市民語学ボランティア等を対象に「医療通訳ボランティア研修会」を実施し、ボランティアのレベルアップや認知度の向上を図りました。また、八王子市保健センターからの予防接種のお知らせに医療通訳の案内や医療通訳カードを同封するなど、昨年同様に PR に努めました。また、委員会では 5 年後 10 年後を見据えた方向性・活動内容について検討しました。

3. 「留学生のための就職支援セミナー/留学生等支援のためのプロジェクト (SNS)」

留学生の就職活動に必要な知識、スキル等を提供する「就職支援セミナー」と八王子市の優良企業を訪問する「企業めぐり」を実施しました。特に、昨年度、このセミナー・企業巡りに参加した留学生が採用され、今回のイベントの企業側の説明役として対応してくれたことは特筆すべき成果でした。SNS としては、留学生を対象としてブログで協会のイベント情報などの発信を行いました。

4. 「日本語ボランティア養成講座」

基礎講座、ステップアップ講座を通して、地域日本語学習支援ボランティアの目的と役割、心構えなどを共に考えました。日本語の特徴や文法をもとにした教え方の実際や活動例、「やさしい日本語」という学習方法などを紹介しました。今年度から委員会として企画運営したことで、ボランティアにとっては色々な視点から学習することができました。

5. 「防災・災害対応」

語学ボランティア研修会でロールプレイングを通してスキル向上や情報交換ができました。さらに町会・自治会・市民センターでの防災訓練に参加して模擬体験をし、防災設備や手順を確認すると同時に問題点や課題の抽出を行いました。また、災害ヘルプカードを改訂し、関係先へ配布しました。

6. 「学習支援」

「北野学習支援教室」の経験と交通の利便性を活かして、10 月には要望の多かった八王子駅前教室を試行的に開設しました。「日本語を母語としない親子のための高校進学ガイダンス」では、事前に通訳とスタッフのための研修を行い、ガイダンス総てに 6 ヶ国語の通訳を配して実施しました。現役の中学・高校の教師の協力で日本の教育の仕組みや進路のアドバイスを、生徒と保護者に行いました。

II. 『国際交流事業』

1. 「留学生八王子ふるさとプログラム」

留学生とファミリーが一堂に会する全体交流会を年6回開催し、留学生とファミリーの交流を図りました。その後、個人交流へとつなげていくという、昨年度とは異なる実施方法で事業を進めました。

2. 「国際交流フェスティバル」

「みんな笑顔で、いつも幸せ ～Happy Harmony Hachioji～」をテーマに開催し、ゆるキャラ「はっちお〜じ」君や腹話術の「ター坊」の登場もあり、子供から大人まで幅広い市民が国際交流を体験する場となりました。「世界の人とふれあいタイム」委員会との連携による複合イベントや、市民応募の「笑顔の写真展」、チェロ体験等の参加型イベントを実現しました。約220人の学生・協会会員・一般市民・外国人市民のボランティアの協力で、有意義な国際交流イベントとなりました。

3. 「世界の人とふれあいタイム」

全5回、8か国のゲストスピーカーに映像などを交えながら、出身国の現状・文化・歴史などについて紹介してもらい、参加者との交流を図りました。国際交流フェスティバルでの特別企画イベントでは、過去50か国の思い出を映像などで紹介し、異文化交流スペースでもゲストスピーカー同士や市民との賑やかな交流の場が出来ました。

4. 「地域における国際交流」

「横山南市民センター祭り」、北野町の「あったかホールまつり」に参加し、国際交流コーナーを設けて当国際協会の事業を紹介するとともに外国人ボランティアが作ったお国自慢の料理等を提供し、地域交流を図りました。

III. 『国際理解事業』

1. 「語学シリーズ」

ステップアップ講座と時事英語講座を含めた5言語9コースの語学講座を実施しました。語学学習を通してその国の文化や歴史などに触れ、国際理解や多文化共生社会の促進に寄与しました。

2. 「学生外国語弁論大会」

第3回「八王子市長杯学生外国語弁論大会(英語の部)」をクリエイトホールで開催しました。応募者も増えレベルの高い弁論大会となりました。

3. 「国際理解教育」

教育委員会の夏期教員研修で国際理解教育講座および学校での国際理解教育授業に、JICA 多摩地区デスクとともに協力しました。職場訪問・職場体験活動として市内学校教員の研修ならびに市内中学校の生徒の受入れなど、広く国際理解教育に協力しました。

IV. 『広報事業』

協会活動を多くの市民に理解してもらうことを目的に、各メディアなどに情報提供したことにより「語学ボランティア懇談会」や「国際交流フェスティバル」などが放映・掲載されました。町自連会報に「夏まつり」が、また「ショッパー」や「よみっこ」などの地域情報紙に活動情報が掲載されました。当協会の会報の紙面を読みやすくするとともに、ホームページの即時性を実現するため最新の情報に更新する等、幅広く広報活動を展開しました。さらに5年の節目にあたり、国際協会設立以来の活動内容を記録した「5年の歩み」を発行しました。今後の広報活動に有効活用いたします。

V. 『八王子市からの受託事業』

1. 「在住外国人のためのサポートデスク」

外国人にかかわる生活相談を中心とした各種相談・問い合わせに、サポートデスクカウンターだけでなく電話やメールなどでも対応し、カウント方法の変更もあり相談件数が増加しました。あわせて「行政書士による外国人個別相談」を毎月1回実施し、在留資格や国際結婚などの相談に対応しました。外国人市民にとって開かれた相談窓口として定着しています。

2. 「外国人のための無料専門家相談会」

今年度も東急スクエアビルで開催しました。前日の記録的大雪にも拘らず、相談者数は8組(10人)、相談件数は9件で、相談業務の重要性を再認識しました。専門家(弁護士、行政書士、社会保険労務士)や市の相談員が相談に応じました。

3. 「外国人市民の地域への防災訓練参加」

めじろ台二丁目、北野町、唐松町の3地域での防災訓練に参加しました。外国人参加者も多く、初期消火、起震車体験、煙体験、通報訓練、応急救護訓練、消火器や包帯の使い方、AED&心肺蘇生訓練、ごみ分別などを通して、日本語が十分でないために災害弱者になる恐れが高い外国人の防災意識の向上に取り組みました。

4. 「国際理解教育プログラム開発および講演会等」

研修、講演活動を通して国際理解の啓発に努めました。国際理解教育についてのアンケート調査や、小学生授業用のプログラムを作成しました。

5. 「コミュニケーション支援事業」

学習支援指導者等への研修会を実施しました。

コミュニティの開設や外国人キーパーソンの発掘・育成を目指して、Facebookを活用した支援事業を立ち上げました。中国人、韓国・朝鮮人が各々参加出来る様なコミュニティグループを作るため、基盤の作成、勉強会を行い、コミュニティ開設後は、外国人コミュニティ参加イベント、コミュニティグループ交流会などを実施し、コミュニティをより充実し拡大するように努めました。また Facebook の活用法等の研修会等を行いました。

VI. 協会内の横断的活動など

委員長会議、団体ネットワーク会議、個人会員懇談会、個人会員向け協会活動説明会を開催し、協会活動の説明、情報交換や課題共有の場として定期的の実施しました。また、東京都国際交流委員会主催の委員会、国際化フォーラムへの参加や東京都内の区市の国際交流協会との交流、情報の交換などに積極的に取り組みました。

VII. 中長期に向けたプロジェクト委員会での検討

設立5年を経て、中長期にわたる方向づけを目的に、2つの特別プロジェクト委員会、「国際理解教育プロジェクト委員会」、「協会の今後のあり方プロジェクト委員会」で引き続き検討を重ねました。協会の今後のあり方プロジェクト委員会では、「協会の法人化」に向けた提言をまとめ、理事会の承認を受け、委員長会議、団体ネットワーク会議、個人会員懇談会、会報記事掲載による趣旨説明などを通して、会員に周知を図りました。国際理解教育プロジェクト委員会では、今後の方向性について、検討しました。

VIII. 環境整備など

インターネットやフェイスブックなど、色々な情報通信手段を用いる環境下においては情報漏洩などに細心の注意を払う必要があります。特に外国人市民に対する支援を中心に活動している当協会においては、作業環境や情報機器の環境について、第三者による監査を実施しセキュリティ対策を施すなど、環境整備に努めてまいりました。また、初めて協会に訪れる方のために、東急スクエアビルの1階エレベーター前の全館案内板とエレベーター内インジケータ(店舗案内表示)に、八王子国際協会の表示を行いました。

<主催事業>

1. 生活・コミュニケーション支援事業

事業名	内 容	
	概 要	詳 細
語学ボランティア	<p>○語学ボランティア 登録者、16 言語 205 名</p> <p>○通訳・翻訳件数 136 件 (含医療通訳・翻訳 18 件)</p> <p>○語学ボランティア 懇談会</p>	<p>言語別内訳：(複数登録)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語 118、中国語 35、韓国語 17、スペイン語 23、ドイツ語 7、ポルトガル語 4、ロシア語 3、ラオス語 1、フランス語 3、タガログ語 4、タイ語 3、ネパール語 1、ウクライナ語 1、アラビア語 4、モンゴル語 1、ベトナム語 2 計 227 名 <p>☆災害時通訳ボランティア 登録者数：9 言語 97 名 ☆医療通訳ボランティア 登録者数：5 言語 27 名 ☆八王子インフォメーションセンター電話通訳 登録者数：10 言語 30 名</p> <p>○生活支援事業の通訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「サポートデスク」 ・「行政書士による外国人個別相談」 ・「外国人のための無料専門家相談会」 ・「日本語を母語としない親子のための高校進学が'イクス」 <p>○八王子市海外友好交流事業の通訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台湾高雄市八王子まつり訪問団 8月2日(金) 3日(土) <p>○八王子市からの資料を翻訳</p> <p>○ガスパールカサド国際チェロコンクール時通訳 11月21日(木)・30日(土) 12月1日(日)</p> <p>○八王子市の外国人向け情報誌「Ginkgo」の英語、中国語、韓国語、スペイン語への翻訳</p> <p>○協会の会報、各種案内などの翻訳</p> <p>○日本人・外国人市民からの依頼に基づく手紙などの翻訳</p> <p>第1回語学ボランティアの集い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：6月8日(土) ・会場：東急スクエアビル 12F 第5セミナー室 ・内容 <p>1. 講演：「語学ボランティア…わたし流メディアーター的コミュニケーションのお手伝い」 講師：岡野内 恵里子氏 (草の根メディアーション(和解支援)の会代表、アジア太平洋メディアーション・フォーラム理事・日本代表、八王子国際協会会員・語学ボランティア)</p> <p>2. 防災訓練ロールプレイング</p> <p>3. 懇談会 参加者：45名</p> <p>○第2回語学ボランティアの集い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：3月21日(金) ・会場：東急スクエアビル 12F 第1セミナー室 ・内容 <p>1. 講演：「医療通訳ボランティアを経験して」 講師：岩元 陽子氏 (MIC かながわ副理事長、医療通訳コーディネーター、英語通訳) 講師：大城 良子氏 (MIC かながわ スペイン語通訳)</p> <p>2. 医療通訳ロールプレイング</p> <p>3. 懇談会 参加者：49名</p>

	<p>成果・課題</p> <p>* 従来の語学ボランティアの活動に加えて、八王子市などから通訳・翻訳の依頼が増えた。今後とも活動の範囲が増えるよう、引き続き語学ボランティアの周知度を高めていく。</p> <p>* 語学ボランティア同士の情報交換とスキルアップのため、語学ボランティア懇談会を開催し、交流の輪が広がった。</p> <p>* 東京都主催の語学ボランティア向け研修会への参加者が少ない。</p>	
<p>医療ボランティア (委員会)</p>	<p>○医療に関わる委員会内の研修、外国人市民との医療通訳に係るミーティング</p> <p>○医療通訳ボランティア研修についての検討</p> <p>○医療通訳研修会開催(一般市民対象)</p> <p>○八王子市医療・保健に関する多言語化について</p> <p>○医療通訳ボランティア制度の紹介</p> <p>○委員会</p>	<p>○研修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床検査について(医療通訳に必要な知識) 発表者:(中村委員) ・ブラジルの医療制度 発表者:(中嶋委員) <p>○目的、対象、内容について検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの通訳者養成項目について考察 ・医療通訳養成項目と内容の素案について検討 <p>○第4回医療通訳ボランティア研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日:3月21日(金) ・場所:東急スクエアビル12F第1セミナー室 ・講師:岩元 陽子氏 (MIC かながわ副理事長、医療通訳コーディネーター兼英語通訳) 講師:大城 良子氏 (MIC かながわ スペイン語医療通訳) ・テーマ:医療通訳ボランティア経験談 ・参加者:49名 ・語学ボランティアの集いと同時開催 <p>○市の健康診断の問診票について提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の検診ガイドについて提案 ・市広報への通訳制度のお知らせ掲載を提案 ・保健センター 予防接種のお知らせに、当協会の医療通訳の案内と医療通訳カードを同封 <p>○連携病院協定の再確認</p> <p>○12回開催 4/23、5/26、6/18、7/18、8/27、9/19、10/21、11/21、12/12、1/9、2/13、3/11</p>
	<p>成果・課題</p> <p>* 5年後・10年後の活動を見据えて、医療ボランティア委員会の中・長期的な方向性や活動内容について検討した。</p> <p>* 医療通訳ボランティアの認知度とレベルアップのため研修会を開催した。</p> <p>* 八王子市の医療・保健に関する多言語化を提案するなど、情報提供ができた。</p> <p>* 今後も医療通訳制度のPRが必要。</p>	

<p>留学生のための就職支援セミナー/ 留学生等支援のためのプロジェクト (SNS) (プロジェクト委員会)</p>	<p>○「留学生のための就職支援セミナー」の開催 対象：日本や八王子の企業に就職を目指している留学生 共催：NPO 法人 留学協会 後援：八王子市 八王子商工会議所 大学コンソーシアム八王子 協力：東京外国人雇用サービスセンター</p> <p>○企業めぐり</p> <p>○委員会</p>	<p>○就職支援セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：11月30日(土) ・会場：クリエイトホール視聴覚室 ・参加者：留学生26名、関係者10名 ・内容 <ul style="list-style-type: none"> ①「日本の企業に就職するにあたって」 講師：花崎 琢也氏 (東京外国人雇用サービスセンター・ハローワーク新宿・雇用指導官) ②「個別就職相談」 相談員：花崎 琢也氏 (東京外国人雇用サービスセンター・ハローワーク新宿・雇用指導官) *同センターへの登録により採用情報、相談・セミナーへの参加等フォローアップが行われた。 ③「日本企業に就職した先輩との交流ラウンジ」 講師：宮川 雅裕氏 他 (NPO 法人留学協会) ④「留学生が就職活動にあたり考えておきたいこと」 講師：石田 光氏 (夢道_s代表取締役社長) ⑤「国際化している八王子の企業」 講師：川村 友宏氏 (八王子市企業支援課主任) ⑥ 八王子の優良企業の紹介 講師：古瀬 智之氏 (株式会社コスモ計器代表取締役) 講師：乙川 直隆氏 (株式会社菊池製作所取締役経営企画部長) <p>○企業めぐり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：12月4日(水)午前、午後の2コースで実施 ・参加者：留学生16名、関係者4名 ・訪問先：株式会社カシオ計算機八王子技術センター 株式会社 コスモ計器 株式会社 菊池製作所 <p>○2回開催 7/11、9/9</p>
<p>成果・課題</p> <p>* 少子高齢化の中、優秀な留学生のわが国や本市への就職は重要な課題である。参加者から「内容が充実していて、大変参考になった」、「企業が求めている人材などを知り、勉強になった」等の感想が寄せられた。次年度も先輩との交流ラウンジを設けるなど、留学生にとってより魅力的なメニューを提供したい。</p> <p>* SNS としては、留学生を対象としてブログで協会のイベント情報などの発信を行った。</p>		

<p>日本語ボランティア養成講座 (委員会)</p>	<p>○「日本語ボランティア基礎講座」の開催</p> <p>○「日本語ボランティア・ステップアップ講座」の開催</p> <p>○委員会</p>	<p>○日本語ボランティア基礎講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：6月29日～8月3日 土曜日 全6回 ・会場：クリエイトホール10F第2学習室・八王子労政会館3F第6会議室 ・対象者：日本語ボランティアを始めようとしている方、日本語ボランティア初歩の方 ・受講者数：34名 ・講師：林川 玲子氏(東京日本語ボランティアネットワーク事務局長) 山形 美保子氏(LTC友の会(杉並)副代表) 金子 広幸氏(東京日本語ボランティアネットワーク講師) 藤橋 帥子氏(東京日本語ボランティアネットワーク講師) 宮崎 妙子氏(武蔵野市国際交流協会日本語学習支援コーディネーター) <p>・講座内容</p> <ul style="list-style-type: none"> *地域日本語ボランティアとは・・・ ＝その目的と役割、その心構え＝ *日本語とはどんな言語？ 知識としての日本語＝日本語の特徴、文法、語彙の特性、音声、文字・表記＝ *教え方の実際「こう聞かれたらどう答えよう？」 ＝どのように教えるの？配慮すべきこと、体験談＝「文法積み上げ型ではない活動例」 <p>○日本語ボランティア・ステップアップ講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：10月19日～11月30日 土曜日 全5回 ・会場：東急スクエアビル12F第5セミナー室 八王子労政会館3F第4会議室 ・対象者：日本語ボランティアをしている方 日本語文法など基礎学習を終えた方 ・受講者数：21名 ・講師：笠原 ゆう子氏 (電気通信大学国際交流推進センター教授) 荒川 みどり氏(杏林大学外国語学部准教授) 佐野 香織氏(早稲田大学日本語教育研究センター常勤インストラクター) <p>・講座内容</p> <ul style="list-style-type: none"> *文型と基礎練習 *会話場面と機能 *日本語ボランティア Q&A *“にほんごこれだけ！”ワークショップ <p>○5回開催 4/6、5/25、7/18、9/14、11/30</p>
<p>成果・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> *地域日本語学習支援ボランティアの意義や目的、具体的な活動方法の提示などにより、受講者は日本語ボランティアについて理解が深まった。 *受講者はレベルに合わせた教材の作り方等を具体的に学習し、特に「やさしい日本語」という学習方法により、多様な学習者に対応できることを学習した。 *新体制の「日本語ボランティア養成講座委員会」で講座の企画運営をし、日本語ボランティアのニーズにマッチした、役に立つ講座となった。 *講座終了後、日本語ボランティアとして活動する場が少ない。 		

<p>防災・災害対応 (委員会)</p>	<p>○災害時の外国人支援のスキームを確立。「災害ヘルプカード」「防災マップ」の修正版を完成</p> <p>○語学ボランティア研修会の開催</p> <p>○防災訓練等への参加</p> <p>○委員会開催</p>	<p>○災害ヘルプカード&防災マップの改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月に「災害ヘルプカード」、「防災マップ」の修正版を5,000部印刷した。 ・外国人コミュニティ(教会、モスクなど)や市民センター防災訓練などに配布、今後は行政施設、大学、外国人を雇用している企業など広汎な配布を予定 <p>○研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：6月8日(土) 1. 講演：「語学ボランティア…わたし流メディアーター的コミュニケーションのお手伝い」 講師：岡野内恵里子(草の根メディアーション(和解の会)の会代表、協会会員、語学ボランティア(英語)) 2. ロールプレイング&防災訓練など 英、中、韓、スペイン語のネイティブと語学ボランティアによるロールプレイング、応急救護訓練(心肺蘇生法、AED、包帯法など)、非常食(アルファーマ)の試食等 <p>○防災訓練等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年1月28日(火)東京都総合防災訓練(東京都体育館)に参加 <p>○市民センター防災訓練に参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年1月21日(火)市民センター長会議で外国人市民に対する防災・災害対応について説明(昨年に続き2回目) ・平成26年2月12日(水)市民センター防災訓練に参加 ・場所：恩方、元八王子、川口市民センター 「八王子市域に震度6弱の大震災が発生し、協会内に外国人支援センター設置、外国人は避難場所に指定されている市民センターに避難してきた」という想定により実施 ・合計外国人15名、語学ボランティア10名参加 <p>○3回開催 7/20、9/4、2/14</p>
<p>成果・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> *「災害ヘルプカード」は各地の自治体や国際交流協会などから問い合わせが相次ぐなど、外部からの評価も高い。 *災害時の外国人支援スキームにより、市民センター3館での防災訓練に参加してきたが、次年度も市民センター、外国人コミュニティでの防災訓練への参加や支援スキームの関係先や外国人へのさらなる周知策が必要である。 		

<p>学習支援 (委員会)</p>	<p>○北野学習支援教室 外国人定住者の多い北野町で運営</p> <p>○プラザ会議室を利用して八王子駅前教室のプレ教室を運営</p> <p>○日本語を母語としない親子のための高校進学ガイダンス 保護者を交え通訳を配し開催</p> <p>○委員会開催</p>	<p>○北野学習支援教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習日時：毎週水曜日 15:00～19:00 ・平成26年3月末の学習者数：21名 学習支援者数：21名 ・4月～3月まで全42回 ・月1回の支援者ミーティングで学習支援の情報・状況等を共有し、より良い学習の環境づくりを常に検討 <p>○八王子駅前プレ教室 夏休み以降、家族の理由で来日した中学生の学習希望者が激増したため学習を開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習日時：月曜日 16:00～19:00 ・平成26年3月末の学習者数：10名 学習支援者数：7名 ・8月から平成26年3月まで全26回 <p>○高校進学ガイダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：10月20日(日) ・参加者：49名 (内訳) 相談者生徒 20名、保護者等 29名 ・スタッフ：中学・高校教諭、ボランティアなど 49名 <p>○通訳者への研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会：10月12日(土) ・参加者：16名 語学ボランティアを対象に、日本の教育制度・高校入試の仕組みや専門用語について理解する研修を事前に実施 <p>○毎月第1水曜日、支援の前に委員会を開催</p>
<p>成果・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> * 児童・生徒にとって学習支援教室は、学習の場であると同時に「居場所」となり、母語や文化など自分のルーツを大切にしたい学習がすすめられるようになった。 * 支援者による保護者からのヒアリングを行い、ともに学習を進める意識を高めたことにより、保護者の信頼がより強くなり、学習への参加する意欲が高まった。また支援者も学習者の様子を知ることによって、その子に合わせた支援が行えるようになった。 * 協会のサポートデスクに、北野へは遠くて通えない学習希望者の相談が多いことから、プラザ会議室に「八王子駅前教室」の準備教室を開設した。毎月学習者が増え、平成26年3月には中学生8名小学生2名が登録、学習をしている。 そのうち中学3年生の生徒2人は、在日日数が短く日本語の習得が不十分ながらも都立高校入試で合格を果たした。 		

2. 国際交流事業

事業名	内 容	
	概 要	詳 細
留学生八王子ふるさとプログラム (委員会)	<p>○交流プログラムの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八王子を「第二のふるさと」と思ってもらえるよう留学生と市民ファミリーとの交流の場を提供し、双方が楽しい時間を共有するとともに八王子の街に親しんでもらうことを企画。また、ホームビジットによる国際交流を推進 ・留学生とファミリーの交流イベントを開催 	<p>○交流プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動説明会：4月27日(土) 開催場所：国際交流室 参加者：ファミリー20名 ・顔合わせ交流会：5月18日(土) 開催場所：学園都市センター 第5セミナー室 参加者：64名 ・高尾山ハイキング：6月1日(土) 参加者：39名 ・浴衣を着る会：7月13日(土) 開催場所：北野事務所集会所 参加者：31名 ・バーベキューパーティ：11月2日(土) 開催場所：ファミリー宅 参加者：36名 ・お茶会：12月7日(土) 開催場所：南大沢市民センター 参加者：13名 ・日本料理交流会：平成26年2月2日(日) 開催場所：萌愛調理師専門学校 参加者：17名
	○交流会で出会ったファミリーと留学生の個人交流	○個人交流：交流会の後に個人交流
	○委員会開催	○イベントの前と後に、委員会を開催
<p>成果・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> *これまでの反省のもとに、全体交流会を複数回開催することで、留学生やファミリーが、イベントに気楽に参加できる機会を多くするように、事業を進めてきた。 *留学生にはどの交流会も人気があり参加者が多かったが、ファミリーの参加はどの会も多いわけではなかった。その意味で、交流会に参加したファミリーは個人交流を楽しめたが、交流会に参加しなかったファミリーは、個人交流の機会を逸している傾向がみられたことは、反省する点である。 *委員が役割分担で各交流会を実施したので、事業活動面で効率化が図られた。 *留学生には、各交流会とも好評であった。 		

<p>国際交流フェスティバル (委員会)</p>	<p>○国際交流フェスティバル開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日： 11月10日(日) 11:00～17:00 ・来場者：1,200名 ・協力外国人の参加：16か国 ・JICA 地球ひろば、八王子学生委員会、八王子市と協働 ・テーマ みんな笑顔で、 いつも幸せ ～Happy Harmony Hachioji～ <p>○委員会開催</p>	<p>○国際交流フェスティバル2013</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別企画「世界の人とふれあいタイム」委員会と協働で「過去50カ国の思い出」“体験してみませんか異色の多文化交流!!”を実施 ・ペットボトルキャップの回収 40,400個のキャップを収集、ワクチン51人分相当 ・昨年に引き続き、市民から「笑顔」の写真を募集して、笑顔の写真展を実施。来場者による「いいね!シール」の数で優秀賞を決定し表彰。高尾登山電鉄、高尾山薬王院、八王子観光協会、八王子市シルバー人材センター、八王子市などから提供された協賛品を賞品として授与 ・日本人市民をはじめ外国人市民・留学生・学生・ボランティアのグループなどの協力で、市民と外国人市民との交流・パフォーマンス・日本文化や外国文化の紹介・子どもの遊び体験・チェロの演奏体験・八王子の観光紹介など幅広く展開。来場者を楽しみながら国際交流を経験してもらい、「笑顔」を増やすことを志向するとともに、国際交流の広場を提供 ・留学生お国自慢スピーチでは7人の留学生が発表 ・主なイベント： ステージパフォーマンス 異文化交流スペース フェアトレードカフェ「MARCHE」 バルーンアート 「笑顔」の写真展、児童の「蓮の絵」展 八王子市海外友好交流都市の写真展 留学生お国自慢スピーチ JICA 青年海外協力隊の講演 世界の人とふれあいタイム お茶席、世界の遊び ゆるキャラ「はっちおーじ」 腹話術(ター坊)と似顔絵 チェロ体験・ミニコンサート 外国人のための相談会 国際交流関連団体の紹介 八王子市の観光 <p>○委員会 10回開催 4/9:委員長選出 5/14、6/3、7/5、7/29、8/26、10/1、10/16、10/28: テーマ、イベント内容の決定 12/9:反省会</p>
	<p>成果・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> *できるだけ多くの市民に参加して貰うように、ゆるキャラ「はっちおーじ」君を前日から借用し、東急スクエアビルの前でチラシ配りをしたり、当日はステージ上で腹話術の「ター坊」とトークショーをするなどの活躍で参加者も増加した。約220名の学生、国際協会の会員、一般市民や外国人市民のボランティアの協力で、多彩で参加型の国際交流広場が実現できた。 *例年10月開催であったが、学祭開催を考慮して、なるべく重ならない11月に実施したことで、学生の参加が多くなった。 *JCN八王子テレメディアの取材、放映等でPR効果を得られた。 	

世界の人とふれあいタイム (委員会)	<p>○世界の人とふれあいタイム実施</p> <p>○世界の人とふれあいタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月21日(日) 参加者:49名 国:ペルー ゲスト:小倉 アナマリアさん ・6月30日(日) 参加者:52名 国:スリランカ ゲスト:山崎 シルヴァさん ・9月22日(日) 参加者:69名 国:ドイツ ゲスト:ゼベリング 伸一さん ・11月10日(日)「国際交流フェスティバル2013」に特別参加「過去50か国の思い出」 参加者:延べ人数 約90名 国:インドネシア ゲスト:アグス スハルノさん 国:韓国 ゲスト:ハ ヨンヒさん 国:フィンランド ゲスト:カアキネン テイヨさん 国:アルジェリア ゲスト:鈴木 サリマさん ・平成26年 2月2日(日) 参加者:69名 国:イラン ゲスト:エレナズ・ジャラリーさん <p>○委員会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常の5回のイベントの終了後に、反省と、次回のゲストスピーカーとの打合せを行った。 ・国際交流フェスティバルの準備のための委員会を2回開催(8/3、11/2) ・10周年記念懇親イベントの打合せ3回開催(11/24、1/18、3/15)
	<p>成果・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> *外国人ゲストスピーカーに出身国の現状、文化、歴史の話を映像などで紹介してもらい、参加者との交流や理解を深めた。 *今年度は11月10日の国際交流フェスティバルに特別参加 ゲストスピーカーは企画から参加し、ポスターデザイン、映像制作を担当し、プレゼンテーション終了後は、異文化交流スペースで更に交流の輪を広げた。 *ビデオ、写真撮影や受付などのボランティアに留学生や、一般市民の参加と協力があり盛り上がりを見せた。
地域における国際交流	<p>○横山南市民センター祭りに参加</p> <p>○横山南市民センター10周年記念祭り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横山南市民センター祭り実行委員会と協働で実施 開催日:10月19日(土) 会場:横山南市民センター広場 ・外国人ボランティアの協力により、韓国料理の「チヂミ」と「パパ・ア・ラ・ワンカイナ」(茹でたジャガイモにソースをかけて食べる中南米の代表的な家庭料理)を市民へ提供 <p>○あったかホールまつり(北野町)に参加</p> <p>○あったかホールまつり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あったかホールまつり実行委員会と協働で実施 開催日:11月3日(日) 会場:北野余熱利用センター「あったかホール」 ・外国人ボランティアの協力により、「チヂミ」と「パパ・ア・ラ・ワンカイナ」を市民へ提供した。
	<p>成果・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> *外国人市民との交流が一層進むよう、町会・自治会などとの協働により、韓国、エスニック料理を賞味してもらったが、料理の提供だけでは地元住民との交流に限界があり、次年度は別の企画を検討したい。

3. 国際理解事業

事業名	内 容	
	概 要	詳 細
語学シリーズ (委員会)	<p>○市民に語学学習を通して、その国の文化・歴史を理解してもらい、国際理解や多文化共生社会の促進に貢献</p> <p>○「語学講座」の開催 5か国語9コースの講座を火曜日と木曜日に実施</p>	<p>○春期講座：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステップアップ韓国語 全10回 開催日：5月9日～7月18日 講師：崔貞淑氏 参加者：24名 ・初めてのイタリア語 全10回 開催日：5月9日～7月11日 講師：スッチ・マッシモ氏 参加者：24名 ・時事英語 全10回 開催日：5月7日～7月9日 講師：キャロリン・オバラ氏 参加者：24名 <p>○秋期講座：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステップアップ・イタリア語I 全10回 開催日：9月26日～11月28日 講師：スッチ・マッシモ氏 参加者：24名 ・初めてのスペイン語 全10回 開催日：9月26日～11月28日 講師：小倉アナマリア氏 参加者：21名 ・時事英語 全10回 開催日：9月24日～11月26日 講師：キャロリン・オバラ氏 参加者：24名 <p>○冬期講座：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステップアップ・スペイン語 全10回 開催日：平成26年1月16日～3月27日 講師：小倉アナマリア氏 参加者：23名 ・初めてのドイツ語 全10回 開催日：平成26年1月16日～3月27日 講師：宮本アンドレア氏 参加者：23名 ・時事英語 全10回 開催日：平成26年1月14日～3月25日 講師：キャロリン・オバラ氏 参加者：24名
	○委員会開催	○6回開催 (4/13、6/29、9/11、11/2、12/12、2/13)
<p>成果・課題</p> <p>*3期9コースの学習は定着してきている。昨年度より初級受講者全員（希望者）がステップアップ講座を受講できるようにした。また、トピックスをフリーに話し合う形式の「時事英語」は受講者から好評を得ている。次年度は会場が外部施設に変更となり、準備の面などで制約を受けるが、創意と工夫で対応したい。</p>		

<p>八王子市長杯学生外国語弁論大会 (プロジェクト委員会)</p>	<p>○第3回「八王子市長杯学生外国語弁論大会(英語の部)」の開催 対象：八王子市域23大学の大学等に在学または八王子市在住の学生 目的：国際理解や国際交流を深め、将来国際社会で活躍できる人材の育成</p> <p>○委員会開催</p>	<p>○案内と選考 ・6月に23大学やESSに案内 応募締め切り11月11日(月) ・応募者24名(日本人21名・外国人留学生3名)うち、書類審査で14名(日本人11名・外国人3名)の本選参加者を選考</p> <p>○大会開催 ・開催日：12月15日(日) ・場所：クリエイトホール視聴覚室 ・後援：八王子市、読売新聞社、JCNテレメディア八王子 ・審査委員： 委員長 花輪 宗命氏(大東文化大学教授) 委員 キム 佐野氏(青山学院女子短大講師) 委員 ロバート・マーロウ氏(翻訳家) ・参加者：約70名</p> <p>○受賞者 ・優勝：金 春華(中央大学) 演題「You are Unconscious Of・・・」(無意識の・・・) ・準優勝：藤川 翔(法政大学) 演題「You Should Fly Higher.」(もっと羽ばたくべきだ。) ・第3位：関口 燿子(中央大学) 演題「Doubt the Existing World.」(既存の社会を疑え。)</p> <p>○1回開催 12/5</p>
<p>成果・課題 *国際理解や国際交流、多文化共生について理解を深めるといった所期の目的を達成した。</p>		
<p>国際理解教育</p>	<p>○国際理解教育授業への協力 学校へ外国人講師を派遣</p> <p>○教育委員会の夏期の教員研修での国際理解教育に協力</p> <p>○協会での職場体験等受入れ</p> <p>○八王子国際協会の国際理解教育の指針と方向性を検討・確立</p>	<p>○学校での国際理解教育授業への協力 ・実施校：小学校4校 中学校1校 私立高等学校1校 ・外国人ゲストティーチャー登録数：16名 ・JICA多摩地区デスクと協働で実施</p> <p>○教育センターでの現役教員を対象とした「パワーアップ研修会」の国際理解教育講座に、JICA多摩地区デスクと協力</p> <p>○研修等の受入れ ・現役教員の10年目研修として職場体験を受入れ ・市内中学生の職場訪問や職場体験活動の受入れ</p> <p>○指針、取り組み内容、申込み方法を文書で作成</p>
<p>成果・課題 *八王子市教育委員会の研究指定校であった鎌水中学校の～国際理解教育から異文化間相互理解にむけて～の授業に協力し、実態とその成果を目にすることができた。また、首都大学東京の国際センターからの協力依頼、檜原小学校での社会科研究授業を見学したことなど、現場の状況を把握することができた。国際理解教育の在り方をきちんと確立する必要を迫られている。</p>		

4. 広報事業

事業名	内 容	
	概 要	詳 細
広報 (委員会)	○会報の発行 ○ホームページの管理 ○市の広報紙、JCN テレメディア八王子、新聞、ミニコミ紙などを通じて活動情報を広報	○会報「地球市民プラザ八王子だより」 ・偶数月に発行(第 29 号～第 34 号)、広報委員会で紙面の企画・構成を検討(会員数も掲載) ・字体を大きくし、写真を増やすなどして読みやすい紙面を目指す ・八王子市在住の外国人市民へのインタビュー取材と掲載 ・日本語版の他、英語・中国語版もホームページに掲載 ・ホームページへ転載 ○ホームページの管理 ・ホームページ内容のモニタリング ・レイアウト等見やすい画面へのリニューアルの検討 ・情報更新の迅速化と内容確認 ○市広報紙での広報活動 「広報はちおうじ」や外国人向情報紙「Ginkgo」、外国人のモバイル情報などに講座やイベント情報を提供 ○テレビ、新聞、ミニコミ紙に活動情報を提供 ①防災・災害関連 ・JCN テレメディア八王子 6月8日：語学ボランティア懇談会 ②国際交流フェスティバル関連 ・JCN テレメディア八王子 11月8日：事前案内 11月10日：開催模様の放映 ③地域活動関連 ・町自連だより 16号(10月1日)：夏祭り ○その他ミニコミ紙等を通じ情報発信 ショッパー、はちとび、ぼど、国際人流、地域情報紙「よみっこ」など
	○記録誌「5年の歩み」の発行 ・編集会議開催(8回) ・40ページ、600部 ○委員会開催	○編集会議開催 ・各委員会の委員長が5年間の委員会活動記録を執筆 ・編集会議で校正と編集 ○広報委員会 8回 5/28、6/18、7/30、10/1、11/21、12/24、1/30、3/4
成果・課題 ＊積極的な広報活動により、各種メディアや地域情報誌等に当協会の活動が紹介され、認知度が高まった。 ＊設立5年目を迎えた節目の年に、5年間の活動記録を「5年の歩み」として発行することができた。この集大成された活動記録を会員他、市の関係部署、諸団体等へ配布することで、当国際協会の事業について、その実績を理解し評価をいただくことができた。		

<八王子市からの受託事業>

事業名	内 容	
	概 要	詳 細
在住外国人のためのサポートデスク	<p>○外国人のための生活相談、専門家の窓口紹介、暮らしの情報提供</p> <p>○行政書士による外国人個別相談の実施</p>	<p>○サポートデスク対応相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談日時：月～土曜日 午前10時～午後5時 ・相談件数：1360件(4月～26年3月) (生活相談228、就労関係12、日本語支援205、ボランティア希望104、その他811) ・相談内容：住宅、生活保護、子供の教育、遺産相続、年金、保健、医療、離婚、通訳・翻訳など ・相談者国別人数：計1360名 (日本838、中国137、韓国25、フィリピン111、ペルー35、ブラジル6、アメリカ14、他31か国194) <p>○行政書士の相談内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談日：毎月第2土曜日 午後2時～5時 ・相談件数：23件(4月～26年3月) ・相談内容：在留資格、国際結婚・離婚、家族の呼び寄せ等
	<p>成果・課題</p> <p>*認知度の高まりもあり、外国人にかかわる生活相談を中心とした各種相談・問い合わせに、サポートデスクカウンターだけでなく電話やメールなどでも対応し、相談件数が増加した。</p> <p>*相談内容が多岐にわたり、専門機関からや遠隔地からの問い合わせもある。より専門的な対応が求められる。</p>	
外国人のための無料専門家相談会(委員会)	<p>○第11回「外国人のための無料専門家相談会」の開催</p> <p>東京外国人支援ネットワークによる都内19か所の「リレー相談会」のうちの1回を八王子市で実施</p> <p>○研修会の実施</p> <p>○事前シミュレーション研修の実施</p>	<p>○無料専門家相談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成26年2月9日(日) ・場所：東急スクエアビル11F ギャラリーホール ・相談者数：8組(10人)、相談件数：9件 (ビザ、年金、結婚、離婚、労働、帰化など) ・相談者国別人数：中国1、ペルー1、台湾1、ベトナム1、ネパール1、英国1、日本2 ・運営者数：専門家・相談員10名、通訳9名、スタッフ16名 ・当日相談会終了後相談会参加者全員(専門家、相談員、通訳、運営スタッフ)から相談会について感想、意見を発表 <p>○研修会</p> <p>「外国人相談における法律相談の基礎知識・事例検討」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成25年12月14日(土) ・場所：国際交流室 ・講師：全 東周氏(弁護士、当協会理事) ・参加者：23名 <p>○事前シミュレーション研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成26年2月1日(土) ・場所：東急スクエアビル11F ギャラリーホール ・内容：運営スタッフ・通訳の顔合わせおよびロールプレイングによる役割・動きの確認 ・参加者：21名

	<p>○委員会開催</p>	<p>○5回開催 7/23、10/2、12/14、1/25、2/13 ・次年度以降の相談会をより充実するため、今回の相談会の「実施記録」「フィードバックミーティング集計」専門家、相談員、通訳、運営スタッフ、相談者からの「アンケート」を検討し、総括(反省)を実施した。</p>
	<p>成果・課題 *前日の記録的な大雪で交通機関が混乱したにもかかわらず、10名の相談者が来場した。 *会場の雰囲気明るく、プライバシーも守られ、相談者に好評であった。 *相談会の運営は各担当者間の連携がスムーズに行われ、好評であった。 *相談会のPRの方法については、さらに検討する必要がある。 *専門家、相談員、通訳、運営スタッフ等の態勢は整えてはいるが万一不備が生じた場合は各担当者のバックアップを考えておくことが必要である。 *東京都では相談会に参加するボランティアのレベルアップのために研修を行っているが、参加者が少ない。</p>	
<p>外国人市民の地域への防災訓練参加</p>	<p>○町会・自治会主催の防災訓練に外国人、語学ボランティア、協会職員が参加</p> <p>外国人市民を対象に、災害時の対応等も含めた外国人の防災意識の向上に資するとともに外国人市民と地域のつながりのきっかけづくりとするため町会・自治会等と連携し、外国人市民を対象とした地域の防災訓練に参加</p> <p>○委員会開催</p>	<p>○地域の防災訓練参加</p> <p>1. めじろ台二丁目防災訓練 実施日：10月12日(土) 会場：めじろ台向原公園 外国人参加者：10名(米国、中国、韓国、インド、フィリピン、インドネシアなど) 訓練の内容：初期消火、起震車体験、煙体験、通報訓練、応急救護訓練(八王子消防署富士森出張所)</p> <p>2. 北野町防災訓練 実施日：10月20日(日) 会場：八王子市役所北野事務所 外国人参加者：約12名(イタリア、中国、ネパールなど) 訓練の内容：通報訓練、消火器や包帯の使い方、AED&心肺蘇生訓練、ごみ分別など (八王子消防署北野出張所)</p> <p>3. 唐松町防災訓練 実施日：11月16日(土) 会場：川口やまゆり館の広場 外国人参加者：18名(中国、韓国、ネパールなど) 訓練の内容：初期消火、煙体験、起震車体験、倒壊建物からの救出・救助訓練、AED操作、三角巾の使い方など (八王子消防署元八王子出張所)</p> <p>3回開催 7/20 9/4 2/14</p>
	<p>成果・課題 *八王子市に居住する外国人が、町会・自治会主催の防災訓練に参加することにより、支援スキームの外国人への周知が浸透し、訓練へ参加する外国人の増加が期待できる。外国人市民に対する町会、自治会の関心度が高まった。</p>	

<p>国際理解教育プログラム開発および講演会等</p>	<p>○プログラム開発</p> <p>○アンケート調査実施</p> <p>○研修会・講演会の実施</p>	<p>○小学校3・4年生授業用のプログラムを作成 新発見!「八王子王国」とその姉妹国</p> <p>○小学校5・6年生授業用のプログラムを作成 八王子の食卓から世界を知ろう</p> <p>○市内小・中学校教員からアンケート調査を実施し、データ集計</p> <p>○国際理解講座「ブータンの教育から学ぶこと」 開催日:10月6日(日) 会場:東急スクエアビル12F 第5セミナー室 講師:関 健作氏(写真家、JICA 青年海外協力隊ブータン王国派遣) 出席者:37名</p> <p>○国際理解教育「授業案の作成の仕方」 開催日:1月24日(金) 会場:東急スクエアビル12F 第5セミナー室 講師:森茂 岳雄氏(中央大学文学部教授) 出席者:29名</p> <p>○国際理解講座「あなたの隣に外国人が住んでいたら」 開催日:3月2日(日) 会場:東急スクエアビル12F 第5セミナー室 講師:浦 輝大氏(JICA 多摩地区デスク、JICA 青年海外協力隊バヌアツ共和国派遣) 出席者:22名</p>
	<p>成果・課題</p> <p>*国際理解教育特別プロジェクト委員会の協力を得て、内容の充実したプログラムを開発することができた。</p> <p>*アンケートを通して現場の教師の声を直にヒアリングしてニーズを把握し、また研修会で得た知識をもとに、その結果をプログラム開発に役立てることができた。</p> <p>*市民向け講演会は、国際理解および国際理解教育の必要性を解くものであり、市民の理解を拡げるためにも、今後とも継続の必要性を痛感した。</p>	

<p>コミュニケーション支援</p>	<p>○学習支援指導者等への研修会の実施</p>	<p>○研修会「多文化の学校で今」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：平成26年3月22日（土） ・会場：東急スクエアビル12階 第5セミナー室 ・講師：角田 仁 氏（都立小山台高校定時制教諭） ・参加者：20名
	<p>成果・課題</p> <p>*研修会で外国につながる生徒たちの卒業後の実態などを知り、目先の対応だけではなく総体的にみた施策が必要であることを学習した。</p>	
	<p>○外国人市民のネットワークの構築および外国人キーパーソンの育成</p>	<p>○Facebookを活用して、中国人、韓国人のネットワークを構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Facebook ページ構築 ・ガイドライン作成 ・コミュニティグループ結成 <p>○第1回 東京外国人支援ネットワーク研修会 「Facebookの始め方と運用」に参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：7月10日（水）14:00～16:00 ・場所：なかのZERO ・講師：加藤 健（榊ループス・コミュニケーションズ ソーシャルメディアコンサルタント） ・参加者：5名 <p>○フェイスブック勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：11月25日（月） ・場所：国際交流室 ・講師：坂本 佳子氏（ライジングサンコーポレーション 代表取締役） ・テーマ：Facebook 活用法 ・参加者：7名 <p>○Facebook 外国人コミュニティ参加イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成26年1月15日（水） ・場所：国際交流室 ・参加者：10名（含中国5名、韓国1名、台湾1名） ・開催日：平成26年1月24日（金） ・場所：国際交流室 ・参加者：4名（含中国1名、韓国1名） <p>○コミュニティグループ交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成26年3月29日（土） ・場所：国際交流室 ・中国、韓国合同 ・参加者：10名（含中国2名・ベトナム1名） <p>○中野区国際交流協会国際理解講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：11月18日（月） ・会場：なかのZERO ・講師：山脇 啓造氏（明治大学国際日本学部教授） ・テーマ：「外国人住民と地域社会－多文化共生社会に向けて」 ・参加者：1名（中国）
	<p>○委員会開催</p>	<p>○4回開催（10/25、11/25、12/17、3/29）</p>
<p>成果・課題</p> <p>*Facebookを使うと言葉だけでは伝わりにくいことも画像などを掲載して、多くの人と手軽に素早くコミュニケーションが取ることができる。</p> <p>*まだ、認知度が低いが今後期待したい。</p>		